

IOLMaster®700による水晶体厚測定の誤差についての観察研究

1. 研究の対象

2023年8月1日～2024年3月30日に当院で白内障手術を受けた方
予定症例数：771件

2. 研究期間

研究実施許可後～2026年3月31日まで

3. 研究目的・方法

白内障とは、水晶体と呼ばれる眼の中のレンズが加齢などによって濁り、視力が低下する疾患です。白内障手術を行う際、使用する眼内レンズの度数決定にあたって必要な眼の長さを測る装置の一つに IOLMaster®700 という機器があり、IOLMaster®700 では眼全体の長さの他、水晶体厚を測定可能ですが、白内障の程度が強い患者さんでは、水晶体厚の測定値に誤りがあることがあります。そこで、過去に手術を行った患者さんのデータを調査することにより、どの程度の割合で水晶体厚測定に誤差が生じるのか、また誤差を生じうる患者さんの特徴を明らかにすることが本研究の目的です。

診療録から、年齢、性別、病歴、IOLMaster®700 の検査データ、術前の視力を収集します。眼科医2名が検査データを確認し、水晶体厚の測定が不正確であると判定した症例については、画像解析ソフトを用いて正しい水晶体厚を測定します。正しい水晶体厚の測定が必要だった症例の割合を調べます。

研究成果は、2024年度に開催される日本白内障学会総会や学会誌などに公表する予定です。

4. 研究に用いる試料・情報

情報：病歴、IOLMaster®700 の検査データ（眼の長さ、水晶体厚など）、術前視力、術後視力 等

本研究で取得した上記の試料・情報は、研究終了後5年間または結果公表日から3年間、いずれか遅い日まで保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 研究費および利益相反

研究は眼科学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学眼科学講座 亀井 翔太

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号

TEL：019-613-7111（内線 6582）

研究責任者：岩手医科大学医学部眼科学講座 黒坂 大次郎

-----以上